

粕屋町学校給食共同調理場整備運営事業

審査講評

平成26年11月25日

粕屋町学校給食共同調理場PFI事業者選定委員会

粕屋町学校給食共同調理場P F I事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、粕屋町学校給食共同調理場整備運営事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（平成26年6月13日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成26年11月25日

粕屋町学校給食共同調理場P F I事業者選定委員会

委員長 大石 桂一

1 審査体制

学識経験者等の外部委員及び町の職員からなる選定委員会の構成は、以下のとおりである。

委員・氏名		所属・役職等
委員長	大石 桂一	九州大学大学院 経済学研究院・教授
副委員長	片桐 義範	福岡女子大学 国際文理学部・准教授
委員	須貝 高	福岡大学 工学部・教授
〃	中島 邦彦	九州大学大学院 工学研究院・教授
〃	箱田 彰	粕屋町副町長

2 選定委員会の開催経緯

選定委員会は、計6回開催した。開催日と主な議題は、次に示すとおりである。

選定委員会	開催日	審議・審査等の事項
第1回	平成25年12月12日	委員長、副委員長の選出、事業概要及び実施方針について
第2回	平成26年2月17日	要求水準書（案）及び入札説明書等について
第3回	平成26年5月8日	特定事業の選定及び入札説明書等について
第4回	平成26年8月7日	提案書類の審査方法及び第一次審査の結果について
第5回	平成26年9月30日	事業者提案内容に対する審議（専門部会）
第6回	平成26年10月16日	応募者ヒアリング、加点審査、優秀提案者の選定

3 審査結果

(1) 入札参加資格確認審査(第一次審査)

下記の3グループから入札参加表明書の提出があり、町は、審査の結果、いずれのグループについても入札参加資格要件を満たしていることを確認した。

なお、後日、Bグループから入札辞退届が提出され、受理した。

グループ名
Aグループ
Bグループ
東洋食品グループ

※提案受付番号順ではありません。

(2) 提案内容審査(第二次審査)

ア 入札書類の確認及び入札金額の適格審査

下記の2グループから第二次審査書類が提出され、いずれのグループについても必要書類を満たしていること、入札書に記載された入札金額が予定金額の範囲内であることを確認し

た。

グループ名	グループ構成	
Aグループ	代表企業	1社
	構成企業	5社
東洋食品グループ	代表企業	株式会社東洋食品
	構成企業	株式会社九電工 西松建設株式会社 九州支社 株式会社松本組 粕屋殖産株式会社 タニコー株式会社 福岡営業所 株式会社中西製作所 九州支店 麻生商事株式会社 共栄ビル管理株式会社 NECキャピタルソリューション株式会社
	協力企業	パシフィックコンサルタンツ株式会社 九州支社 学校法人中村学園 中村学園事業部

イ 必須項目審査

上記2グループの提案内容について、提案書の内容が、町が必要とする項目（必須項目）を充足し、「要求水準を満たすための基本的能力を有する」ことを確認した。

ウ 加点項目審査

選定委員会は、落札者決定基準に基づき、加点項目審査を行った。

配点基準については、以下の5段階の基準により、評価を行った。

評価	判断基準	得点化方法
A	各審査項目に関して特に優れている	各項目の配点×1.00
B	AとCとの中間程度	各項目の配点×0.75
C	各審査項目に関して優れている	各項目の配点×0.50
D	CとEとの中間程度	各項目の配点×0.25
E	各審査項目に関して優れているとはいえない	各項目の配点×0.00

加算審査の結果は、以下のとおりである。

審査項目		配点	提案受付番号 01	提案受付番号 03
			評価点	評価点
①事業計画に関する事項		8	1.75	0.75
事業計画	事業実施体制等	3	0.75	0.00
	資金調達・返済計画	2	0.50	0.00
	リスク管理	2	0.50	0.50
その他		1	0.00	0.25
②施設整備に関する事項		16	3.50	2.25
設計	配置計画・外部動線	5	1.25	0.00
	内部動線			
	デザイン			
建設	施工計画	5	1.25	1.25
共通	地球環境・ライフサイクルコストへの配慮	4	1.00	1.00
その他		2	0.00	0.00
③開業準備に関する事項		3	0.75	0.00
開業準備	開業準備	3	0.75	0.00
	その他			
④維持管理に関する事項		7	1.50	0.00
維持管理	修繕計画	3	0.75	0.00
	エネルギーマネジメント	3	0.75	0.00
その他		1	0.00	0.00
⑤運営に関する事項		30	8.25	2.00
給食調理	おいしい給食の提供	4	1.00	1.00
	安全衛生	4	2.00	0.00
	アレルギー対応	4	2.00	1.00
配送・回収		5	0.00	0.00
衛生管理		5	2.50	0.00
献立作成支援		3	0.00	0.00
食育支援		3	0.75	0.00
その他		2	0.00	0.00
⑥地域経済・社会貢献、災害時対応		6	1.00	0.50
地域経済		2	0.00	0.00
社会貢献		2	0.50	0.50
災害時対応		2	0.50	0.00
合計点		70	16.75	5.50

(3) 入札価格の得点化

入札価格について、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 30 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{当該入札価格})^2$$

	提案受付番号-01	提案受付番号-03
入札価格 (円)	6,134,460,151	5,969,906,533
価格点	28.41	30.00

※入札価格は、消費税及び地方消費税を含まない。

(4) 総合評価点の算定による優秀提案者の選定

選定委員会における審査結果は、次表のとおりであり、総合評価点のもっとも高かった提案受付番号 01 を優秀提案者として選定した。なお、加点項目審査段階では、入札参加グループの構成員及び協力企業の実名及び入札価格を伏せて審査し、審査終了時に全ての実名及び入札価格を開示し、総合評価点を確認した。

(総合評価点の算定結果)

	提案受付番号-01	提案受付番号-03
加算点	16.75	5.50
価格点	28.41	30.00
総合評価点	45.16	35.50
順位	1	2

3. 優秀提案者の町への答申

選定委員会は、提案受付番号 01 のグループを優秀提案者として選定し、町に答申した。

提案受付番号	グループ名
01	東洋食品グループ

4 審査講評

(1) 個別講評

① 事業計画に関する事項

01 グループは、バックアップサービス体制の充実やモニタリングの結果を踏まえた業務改善手順が示されるなど、実行性のある提案が評価された。

03 グループについては、リスクアドバイザーの起用による詳細なリスク分析を行っている点や独自の手法としてコミュニケーションウェアを活用した事業管理の提案が評価された。

② 施設整備に関する事項

設計について、01 グループは、配置計画、外部動線、内部動線において、機能性や見学者・従業員に配慮した提案が評価された。

建築については、01 グループ、03 グループとも現給食センターの操業を最大限に配慮した提案が評価された。

地球環境・ライフサイクルコストへの配慮については、01 グループ、03 グループとも、エコマテリアルの採用や、施設・設備の長寿命化等、環境負荷低減に関する提案が評価された。

③ 開業準備に関する事項

01 グループは、供用開始当初の運営企業の豊富な実績に基づく応援体制や、適切かつ綿密なリハーサル計画が評価された。

④ 維持管理運営に関する事項

01 グループは、維持管理責任者の常駐や具体的かつ手厚い修繕計画の提案、エネルギーマネジメントによる光熱水費の削減について、実行性のある提案が評価された。

⑤ 運営に関する事項

01 グループは、おいしい給食提供のため、調理過程におけるさまざまな工夫や配慮がなされた提案が評価された。

また、衛生管理については、特に町が重要とした項目であるが、給食調理からノロウイルス対策まで、非常に高いレベルでの徹底を図る提案がされていた点が特に評価された。アレルギー対応についても、経験のある栄養士の配置や、適切な指導・研修体制が評価された。

その他、食育支援については、バラエティに富んだ食育プログラムの提案が評価された。

03 グループは、おいしい給食の提供について、給食訪問の実施や食べ残し調査やアンケートなど具体的な提案が評価された。

衛生管理については、高いレベルでの提案がなされていたが、加点要素となるには至らなかった。アレルギー対応については、将来、施設の改修を伴わずにアレルギー対応食の増加に対応できるとした提案が評価された。

⑥ 地域経済・社会貢献、災害時対応

01 グループは、社会貢献において、障がい者雇用の具体的な計画及び受け入れのための設備等への配慮がなされた提案が評価された。また、災害時対応については、危機管理対策チームの設置やマニュアル作成等、具体的かつ実行性のある提案が評価された。

03 グループは、社会貢献において、障がい者の積極的な活用・雇用計画や、地域住民への健康増進への寄与を図る提案が評価された。

(2) 総評

はじめに、総評にあたり、入札公告から入札までの期間が約2か月半と限られた期間内で、2グループから創意工夫を凝らした多様なご提案をいただき、その熱意とご尽力に選定委員会として敬意を払うとともに感謝申し上げます。

本事業では、安全で安心な学校給食の提供、食育に資する給食環境の整備、より豊かでおいしい給食の提供等を基本理念とした学校給食共同調理場施設を整備するため、従来の同種PFI事業の要求水準に比べ、より高いレベルの提案内容を求めた。

応募のあった2グループは、いずれもこれまでのPFI事業や給食センター等の豊富な実績に基づく、高水準かつ多様な提案がされており、選定委員会として公正かつ慎重な審査を行った。

選定された01グループは、町の求める事項についてよく理解いただいた上で、各項目について具体的かつ実行性のある独自の提案がなされた点がより高い評価につながった。

今後、施設整備後15年という長期間にわたる事業運営において、町と良きパートナーシップを図り、良質な給食の提供を行うとともに、地域に根ざしたPFI事業となることを希望して講評の結びとする。

以上